



第11号 ご挨拶

すべての企業が、人材を獲得するために新進気鋭の企業、たとえばアリババ、テンセント、グーグルやアマゾンのような企業とどのように競合または協業するかを考えなければならない時期が来ています。新しい企業や創造的破壊者（Disruptors）が次々に現れ、業界の壁が溶けていく中で、「今後 5～10 年で今の企業がどのように変革するのか。」経営者は実際のかつ包括的なデジタルトランスフォーメーション戦略を構築し、内外のステークホルダー、特に自社の従業員に示す必要があります。

CIO 調査の結果からは、IT 関連の動きが再び活発になり、デジタル化の推進、顧客重視が鍵であること、そして将来の投資では、クラウドやモバイル技術への中規模から大規模な投資が行われていることが分かりました。新しいテクノロジーの採用には、伝統的な経営を志向する経営者と CIO のような IT リーダーとが理解しあうことが重要になります。

組織が新たな価値や機会を得るために何ができるのか、一緒に考えていきたいと思えます。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

1. グローバル製造業の展望 2018 - デジタルでつながる未来に向けた変革

製造業は今、変革の時期を迎えています。デジタル技術により新しい企業が次々と現れ、次の 5～10 年で製造業の在り方が大きく変わることが予想されます。IoT、AI（人工知能）、AR（拡張現実）など、新しいデジタル技術の確立により、産業の境界線が曖昧になり、世界の製造業は変革を余儀なくされています。デジタルトランスフォーメーションは、業界のビジネスモデルに広範な影響を与え、製造業のオペレーションに大きな変化を確実にもたらします。デジタルでつながる未来において、価値と競争上の優位性を最大化するためにも、製造業の経営幹部は、今すぐにも包括的なデジタルトランスフォーメーション戦略を構築しなければなりません。

本レポートでは、デジタルトランスフォーメーションに対して世界各国の製造業がどのような対策をとっているかを探るとともに、日本を含む主要グローバル企業の経営幹部に対するインタビューや KPMG の専門家による考察を交え、今日の製造業が直面する課題を明らかにしつつ、未来への成長や競争優位の実現に向けたヒントについて解説しています。

- > [全文はこちら](#)（日本語）
- > [全文はこちら](#)（英語）

2. 2018 年度 CIO 調査

今年の調査結果では、デジタルやクラウドへの投資は従来通り継続していますが、これらに加えて、経営陣がデータプライバシー、ガバナンス、セキュリティについても注目しているという結果になっています。デジタル戦略はまだ初期段階にあり、投資の大半は業務の根幹に関わるミドルオフィスやバックオフィスではなく、フロントオフィスに集中しています。イノベティブな考え方をもち、試行と検証を繰り返すことが許容されるカルチャーが根付いていることも重要です。そして、顧客に価値を提供し、顧客から価値を得ることに強いこだわりを持つ組織こそが、デジタル化で最も成功していることを、本レポートは示しています。そして、新しいテクノロジーを単に導入するだけでは、パフォーマンスの改善は望めません。既存の業務プロセスに組み込んだり、業務プロセスを再構築して取り入れたりする能力が求められます。

> [全文はこちら](#) (日本語)

3. 中国における環境規制の強化及び日系企業に対する影響

中国は、環境保護を国策の一つとして掲げており、環境保全に対し積極的に取り組む姿勢を示しています。2016年に公布された第13次5カ年計画でも「環境に配慮した経済発展」を今後の目標として掲げており、中国が真剣に国策の一つとして環境保護に取り組んでいることがうかがえます。中国においては、2014年から「環境保護法」「大気汚染防止法」「環境影響評価法」「省エネ法」等の法律が相次いで改正されており、2018年には「環境保護税法」も新たに公布されています。その中で、特に日系企業にとって重要となる「環境保護法」と「環境保護税法」について、本レポートで解説しております。

> [全文はこちら](#) (日本語)

Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: gjpmarkets.china@kpmg.com

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+862122122247) (日本語)